

三原沼田家文書

幕末明治期

広島漢学者の書

資料展示会

主催：日本東洋教育史研究室
担当：白石崇人（広島大学大学院人間社会科学部教育プログラム准教授）

【日時】

2024年6月26日(水)

13:10~18:30

時間内入退室自由

【会場】

教育学部A515

教育学第二資料室

右から

吉村斐山（一八三〇〜一八八〇）

秋陽の養子。広島県師範学校教諭吉村彰の父。三原浅野家学問所の朝陽館教授。広島藩校の修道館教授

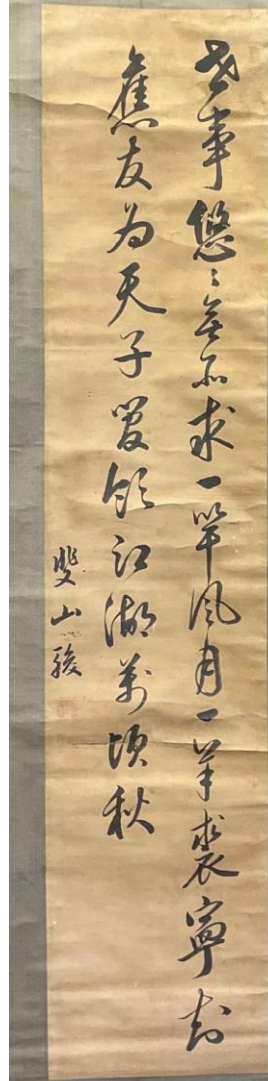
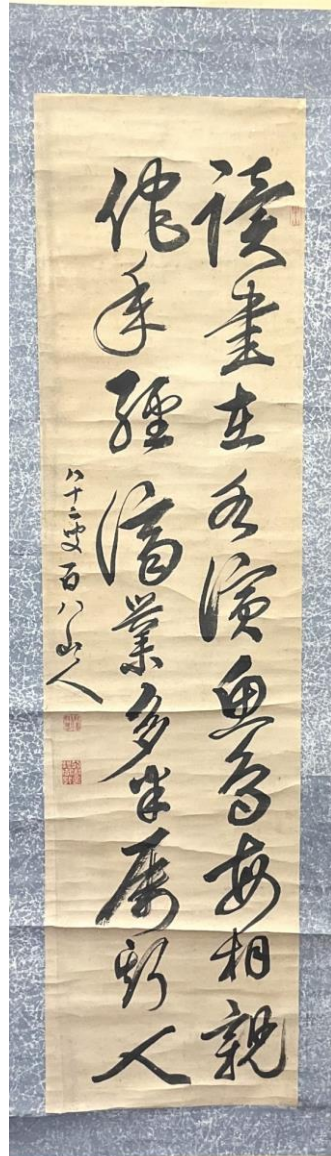
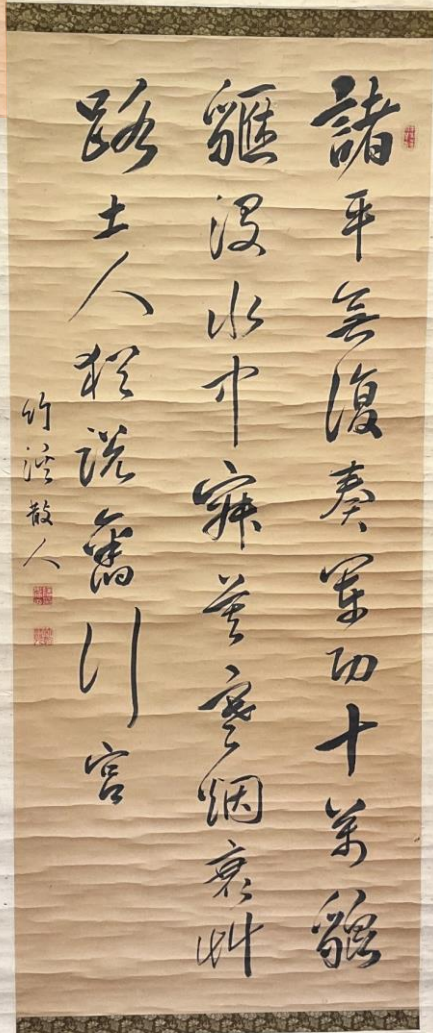
宇都宮龍山（一八〇二〜一八六〇）

古賀侗庵に学ぶ。三原浅野家郷学の明善堂学頭。明治初期に三原・尾道の学区取締。沼田良蔵の師

沼田竹溪（一八二五〜一八七六）

良蔵の父、實の祖父。明善堂で石井豊洲に学ぶ。明善堂教師・本郷村修静館・三原菁莪舎。

その他、広島ゆかりの学者・書家の書を一〇数点程度展示予定です



三原沼田家文書とは…

2022年まで三原市にあった沼田實（1889-1976、元愛媛県中等学校長・私立広島女子商高等学校長・三原市教育委員長）の私邸にあった大規模な資料群。實や三原小学校初代校長の沼田良蔵（1849-1913、實の実父、香雪と号す）が収集した資料を中心とする。

参考文献：白石崇人「沼田良蔵・實文書について―幕末三原の漢学者から明治大正昭和公立学校長への転身」広島文教大学編『広島文教大学紀要』第56巻、2021年12月、1~14頁。
白石崇人・井上快「沼田家文書にみる漢学知と近代教育の展開―日本東洋教育史の一断章」中国四国教育学会編『教育学研究紀要』第68巻、2023年3月、306~317頁。

展示会の経緯

三原沼田家文書は2022年に広島県立文書館に大部分が寄贈された。このたび、遺族が別に保管していた掛け軸（幕末明治初期に活躍した学者の書など）が同館に追加寄贈されることになった。遺族から、寄贈の前に広島大学の関係者に研究のため公開を許されたため、展示会を広くことにしたものの。